

(そのとき、イエスはでしたちにいわれた)「わたしはまことのぶどうのき、わたしのちちはのうぶである。わたしにつながっていながら、みをむすばないえだはみな、ちちがとりのぞかれる。しかし、みをむすぶものはみな、いよいよゆたかにみをむすぶようにていれをなさる。わたしのはなしたことばによって、あなたがたはすでにきよくなっている。わたしにつながっていなさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうのえだが、きにつながっていなければ、じぶんではみをむすぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていなければ、みをむすぶことができない。わたしはぶどうのき、あなたがたはそのえだである。ひとがわたしにつながっており、わたしもそのひとにつながっていれば、そのひとはゆたかにみをむすぶ。わたしをはなれては、あなたがたはなんにもできないからである。わたしにつながっていないひとがいれば、えだのようにそとになげすてられてかれる。そして、あつめられ、ひになげいれられてやかれてしまう。あなたがたがわたしにつながっており、わたしのことばがあなたがたのうちにあるならば、のぞむものをなんでもねがいなさい。そうすればかなえられる。あなたがたがゆたかにみをむすび、わたしのでしとなるなら、それによって、わたしのちちはえいこうをおうけになる。」

みなさんはぶどうのきをみたことがあるでしょう。どうなっていますか。きにたくさん
のえだがあつて、ぶどうのふさがぶらさがっていますね。

きょうのふくいんしよでは、イエスさまが「わたしはぶどうのきであなたがたはえだです」といっておられます。イエスさまはわたしたちとのかんけいを「ぶどうのき」にたとえてはなしてくださいました。きであるイエスさま、ぶどうのきのえだ(わたしたち)として「つながっていなさい」となんかいもいわれます。きがえだにえいようをおくるようにイエスさまのおくってくださいるあい(えいよう)をしっかりとうけなければわたしたちはなんにもできない。ぶどうのえだがきについていなければえだだけではみをむすぶことができなくて、かれてしまいます。おなじようにあなたたちもわたしにとどまらなければみをむすぶことができません。えだは、すいぶんもえいようももらって、いのちまでもそのきからもらっています。わたしたちも、ふっかつして、いまもいきておられるイエスさまからおなじようにいのちをいただいています。イエスさまとつながったえだは、ほかのみんなとたすけあつてえだからえだへとイエスさまのあいをはこぶ。だれかにたすけられたり、あるいはじぶんがゆるしてもらったりしたけいけんはこんどはじぶんがだれかをたすけたり、ゆるしたりするためのえいようになっています。そうやってイエスさまのあいがわたしたちのなかをとおつてえだからえだへとすみずみまでつたわります。

まいにちイエスさまからもらったいのちとあいをまわりのひとに、きのえだのようにつたわっていったらいいですね。

しつもん：

どんなときにきからきりはなされたえだのようにイエスさまからはなれますか。

ぬりえ

ぼく、わたしどこにいますか。

